

2023（令和 5）年度事業報告

1. 大学地域連携課題解決支援事業

- (1) 令和 5 年度実施事業として、継続 6 件、新規 7 件に助成を行った。
- (2) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 「大学地域交流フェスタ 2023」
日時：2023(令和 5)年 11 月 26 日(日) 10 時 00 分から 12 時 00 分（オンライン）
今年度の大学地域交流フェスタについては、大学地域連携事業の中間報告会（活動報告）及び学生支援事業の活動報告をオンラインで実施。県内の大学関係者、学生、地域および自治体関係者など約 60 名が参加し、大学と地域が連携した課題解決支援事業 13 プロジェクトの中間報告と学生支援事業の本年度の活動報告を行った。
- (3) 令和 6 年度実施事業を募集し、大学地域連携課題解決支援事業選考委員会（びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学、びわこリハビリテーション専門職大学、聖泉大学 滋賀医科大学（部会主担当））において選考を行い、継続 7 件、新規 12 件の助成を決定した。

2. 学生支援事業

(1) 事業の実施

2023 年度は「企業との連携による滋賀の SDGs の実践」のコンセプトのもと、「SDGs ワークショップ：滋賀のサーキュラーエコノミーの実践」をテーマとして、滋賀県内の大学から選出された学生と教職員が協力して、無印良品（株式会社良品計画）とのコラボレーションにより、SDGs に関する意識・知識の向上に資する事業を展開した

(2) 実施内容

■SDGs ワークショップの活動内容

- ①キックオフ・ワークショップ 1（9 月 4 日（月））
場所：キラリエ草津 協働ひろば、無印良品 アル・プラザ草津店
- ②資源循環学習・民泊体験・政所茶体験（9 月 7 日（木）～9 月 8 日（金））
場所：あいとうエコプラザ菜の花館／クレフィール湖東・至福の湯
- ③ワークショップ 2：（9 月 15 日（金））
形式：オンライン開催
- ④活動報告会（9 月 24 日（日））
場所：平和書店 アル・プラザ彦根店
- ⑤無印良品での企画の実施（12 月 2 日（土）～3 日（日））
場所：無印良品ビバシティ彦根店

⑥大学・地域交流フェスタでの成果報告発表（11月26日（日））

3. 留学生事業

（1）留学生就職活動ガイダンス

第7回 7月22日（土）13時00分～16時00分 10名参加

第8回 12月9日（土）13時00分～16時00分 14名参加

場所：滋賀大学およびZOOM（対面およびオンラインによるハイブリット開催）。

（2）滋賀県留学生のつどい（地域連携PBL外国人留学生プログラム）

12月9日（土）、12月17日（日）の二日間

- ・プログラム1：草津市を理解する（講義）（フィールドワーク）
- ・プログラム2：草津市を体感する。（フィールドワーク）
- ・プログラム3 新たな草津市を語る。（意見交換、プレゼンテーション）

参加者：各大学留学生および日本人学生（延べ28名）、草津市在住の外国人等（約60名）、その他関係者

（3）留学生等外国人材向け合同企業説明会

日時：10月18日（水）13:30～18:00

開催方法：対面（ピアザ淡海）×オンライン

出展企業：県内に拠点のある企業・団体25社

参加者数48名（対面18名、オンライン30名）

4. 就職支援事業

（1）合同企業説明会

6件の合同企業説明会に協力した。

（2）滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会：12月15日（金）

会場：クサツエストピアホテル 参加企業45社、参加大学：17大学

（3）就職支援に関する意見交換会・情報交換会・研修会

①関係機関との意見交換会：9月22日（金）オンライン 参加機関：7機関、参加大学：10大学

②大学就職担当者間の情報交換会・研修会：1月26日（金）オンライン 参加大学：7大学

（4）学生対象 就職活動に生かす就職イベント（ミニ・インターンシップ）：12月2日（土）オンライン 参加学生：3名、参加企業：6企業

（5）企業採用経験者による模擬面接会

6月28日（火）にしがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施：参加9名

5. 単位互換事業

- (1) 提供科目：13 大学から 70 科目（うち 3 科目は秋学期開講）で開講
- (2) 受講科目及び受講者数：7 大学から 16 科目 27 名が受講、単位付与は 17 名
新型コロナによる制限が緩和されるも出願者が伸び悩み、受講者の約 6 割が集中講義を選択

6. 広報事業

- (1) ホームページの管理・運営
 - ①各事業部会の 2023 年度の事業内容を更新
 - ②お知らせ (News) に 54 件の記事を掲載
 - ③学生支援事業等の SDGs への取組 (活動報告) の掲載
- (2) 広報資料の配付
リーフレットの追加配布
- (3) アクセス統計 (カッコ内は 2022 年度)
 - ①ユーザー 12,423 件 (11,379) 前年比 109%
 - ②セッション 15,823 件 (14,902) 前年比 106%
 - ③ページビュー数 31,610 件 (34,543) 前年比 92%

7. (大学連携政策研究事業) 大学の強みを活かした大学間連携による魅力ある教育プログラムづくりに関する政策研究事業」

- (1) 大学連携政策研究事業推進委員会の開催 (8 月 3 日、10 月 18 日、12 月 20 日)
- (2) 課題別関係者ヒアリング調査
- (3) 芸術文化観光専門職大学の連携教育
 - 令和 5 年 9 月 21 日 (木) 芸術文化観光専門職大学
 - ②宮崎大学を中心とする SPARC 事業
令和 5 年 9 月 23 日 (土) オンライン・キックオフシンポジウム
 - ③岐阜大学を中心とする SPARC 事業
令和 5 年 9 月 27 日 (水) 岐阜大学
 - ④山梨県立大学を中心とする「ペントスやまなし」事業
令和 5 年 11 月 21 日 (火) 山梨県立大学
- (3) 報告書の作成
3 月末に報告書を作成し、滋賀県に提出。環びわコンソーシアムのホームページに掲載。

8. その他

(1) 「子どもの知と創るを応援」事業準備会

環びわにて新たに「理系人材のすそ野拡大」に向けた事業の立ち上げにむけて準備会の立ち上げを決定（2023（令和5）年度第1回総会）、学部長懇談会および事務局会議を開催し事業内容を具体化した。

(2) 『滋賀県における理系人材育成に向けた提言』の発行

理系学部を有する6大学（滋賀大学、滋賀医科大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学、立命館大学、龍谷大学）の学部長により「理系人材育成に向けた」提言を発出した。

(3) 「君が知りたいこと、やりたいこと応援宣言」の発出

6大学の学部長による「提言書」を受け、環びわ湖大学・地域コンソーシアムが子どもにもわかる形で応援宣言として発出した。

以上

2023（令和5）年度 大学地域連携課題解決支援事業 報告

1. 担当

主担当 滋賀県立大学

副担当 びわこ成蹊スポーツ大学、東近江市、草津市

2. 2023（令和5）年度事業報告

第1回事業部会 6月20日(火)

1. 大学地域連携課題解決支援事業計画について
2. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて

第2回事業部会 8月28日(月)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて
2. 来年度の事業（予算）について

第3回事業部会 10月23日(月)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2023 について

第4回事業部会 12月21日(木)

1. 2024 年度支援事業募集案内について
2. 2024 年度部会予算について

第5回事業部会 3月28日(木)

1. 2024 年度支援事業の採択について
2. 2023 年度支援事業の報告について

・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2023 について

日程：11月26日(日) 10時から

場所：オンライン（ZOOM）で実施

内容：中間報告会

地域課題解決支援事業 13 件の活動報告

学生支援事業成果報告

・2023（令和5）年度大学地域連携課題解決支援事業 実施事業一覧

事業	番号	大学	自治体	テーマ	支援額 (円)	決算額 (円)
継続	1	立命館大学	草津市	キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークアブルなまちづくり	142,000	142,000
継続	2	成安造形大学	彦根市	彦根マラリアートプロジェクト	142,000	142,847
継続	3	成安造形大学	大津市	ムダモルフォーゼプロジェクト（店舗から排出されるゴミ問題に着目したアップサイクルデザイン）	142,000	146,045
継続	4	びわこ学院大学	東近江市	「手をあげて わたろう」運動啓発のダンスや歌の練習を通して、交通ルールを身につけ日常生活に実践できるようにする。	140,000	139,834
継続	5	びわこ学院大学	滋賀県	「親子で考えよう！今どきのコミュニケーション」安全なペアレンタルコントロールの啓発活動	90,000	78,795
継続	6	びわこ学院大学	大津市	科学館事業に参加をする子どもたちと大学生の関わりの在り方を求めて―大津市科学館とびわこ学院大学との連携―	150,000	149,209
新規	1	長浜バイオ大学	長浜市	余呉の自然をもっと発信して、もっと繋がる～地域振興へ電子顕微鏡の挑戦	150,000	148,549
新規	2	びわこ学院大学	東近江市	地域イベント「コトナリエサマーフェスタ」における、親子イルミネーションづくりワークショップ。	100,000	99,506
新規	3	びわこ学院大学	東近江市	博物館の収蔵資料・展示事業を子どもたちに役立てるための、学生参画と道徳科・社会科の地域教材作成	150,000	150,000
新規	4	びわこ学院大学	東近江市	誰もが使いやすい交通環境実現に向けたリ・デザイン	135,000	133,809
新規	5	滋賀短期大学	大津市	大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタル化プロジェクト	150,000	150,000
新規	6	びわこリハビリテーション専門職大学	東近江市	山間部に暮らす高齢者と共に考えるLIFE～健康いきいき作業療法プロジェクト～	135,000	144,205
新規	7	びわこリハビリテーション専門職大学	東近江市	いきいき生活プロジェクト 2023-24～体力チェックで健康寿命を延ばしましょう～	135,000	135,006

※決算額における支援額超過分は、各大学にて負担。

・2024（令和6）年度大学地域連携課題解決支援事業 採択事業一覧

□活動提案の募集対象自治体

滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市

□募集期間

2024（令和6）年1月5日（金）～2月16日（金）16時必着

□支援（助成）期間

2024（令和6）年4月～2025（令和7）年3月

事業	番号	大学	自治体	テーマ	支援額 (円)
継続	1	長浜バイオ大学	長浜市	余呉の自然をもっと発信して、もっと繋がる ～地域振興へ電子顕微鏡の挑戦	115,000
継続	2	びわこ学院大学	東近江市	地域の夏祭りを通した環境教育と地域コミュニティの維持 (昨年のイベント名称及び企画が新しくなったため テーマ変更)	80,000
継続	3	びわこ学院大学	東近江市	博物館の収蔵資料・展示事業を子どもたちに役立て るための、学生参画と道徳科・社会科の地域教材作 成	107,000
継続	4	びわこ学院大学	東近江市	誰もが使いやすい交通環境実現に向けたリ・デザイ ン	107,000
継続	5	滋賀短期大学	大津市	大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタ ル化プロジェクト	126,000
継続	6	びわこリハビリ テーション専門 職大学	大津市	山間部に暮らす高齢者と共に考える LIFE ～健康いきいき作業療法プロジェクト～	107,000
継続	7	びわこリハビリ テーション専門 職大学	東近江市	いきいき生活プロジェクト 2024 ～体力チェックで健康寿命を延ばしましょう～	106,000
新規	1	滋賀大学	草津市	ピワイチ「歩育」のススメ ～幼稚園で、親子で楽しもう～	111,000
新規	2	滋賀大学	東近江市	「読んで」、「聴いて」、「話して」、広げる読書の魅 力！	117,000
新規	3	びわこ成蹊スポ ーツ大学	大津市	1000年の歴史、鮎漁への挑戦	111,000
新規	4	びわこ成蹊スポ ーツ大学	滋賀県	動作の客観評価がつなぐスポーツライフの探索・啓 発的活動	109,000
新規	5	びわこ成蹊スポ ーツ大学	大津市	スポーツ施設・公園を活用した 市民のスポーツ実施、健康、防災意識の浸透研究	112,000
新規	6	龍谷大学	東近江市	広がる地域の輪～フットパスの可能性～	109,000
新規	7	びわこ学院大学	大津市	大学生に3つの授業実践力をつけるための子ども 向け科学実験・ものづくり教室の取り組み	126,000
新規	8	びわこ学院大学	滋賀県	いのちの安全教育 ～Stop 性暴力・性犯罪～	85,000
新規	9	びわこ学院大学	東近江市	スポーツ拠点を中心とした地域防災 ～みんなで考 える地域の避難所運営～	120,000

新規	10	びわこ学院大学	東近江市	ー ひきこもりや孤独死、育児ノイローゼから人々を救うー 音楽セラピーとリクリエーションによる生涯教育と子育て支援	108,000
新規	11	成安造形大学	滋賀県	滋賀県 CO2 ネットゼロ社会づくりの推進をテーマにした 児童向けワークショップデザインプロジェクト	121,000
新規	12	成安造形大学	大津市	幼稚園児との日用品を応用した造形あそびワークショップ	112,000

・環びわ湖大学地域交流フェスタ2024

→オンラインで開催予定

以 上

2023（令和5）年度 学生支援事業 報告

1. 2023 年度学生支援事業について

2023 年度は「企業との連携による滋賀の SDGs の実践」のコンセプトのもと、「SDGs ワークショップ：滋賀のサーキュラーエコノミーの実践」をテーマとして、滋賀県内の大学から選出された学生と教職員が協力して、無印良品（株式会社良品計画）とのコラボレーションにより、SDGs に関する意識・知識の向上に資する事業を展開した。

（1）コンセプト・テーマ

コンセプト 「企業との連携による滋賀の SDGs の実践」

年度テーマ 「SDGs ワークショップ：滋賀のサーキュラーエコノミーの実践」

（2）目的

- ① 地域の人々との交流を通して地域の特性を理解する。
- ② 国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）について学ぶ。
- ③ 学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④ 琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力や特長を認知し、発信する。
- ⑤ 事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥ プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

（3）学生参加状況

2023 年 6 月 5 日～6 月 30 日に募集した結果、5 大学 13 名の学生応募があった。適正規模のため追加募集は行わず、全員をプログラム参加学生として採用した。

滋賀大学	滋賀県立大学	聖泉大学	立命館大学	龍谷大学	合計
2 名	4 名	1 名	1 名	5 名	13 名

（4）事業実施体制

- ①事務局：学生支援事業 担当校：（主）龍谷大学（副）滋賀大学・聖泉大学、各参画大学
- ②業務委託：一般社団法人インパクトラボワークショップ（現地活動等に係る学生支援の業務を一括で委託）

（5）活動の概要

各大学からの参加学生で複数チームを編成し、無印良品の関係者から SDGs の取り組みを学ぶとともに、SDGs 12 の「つくる責任使う責任」を実現するための新企画を考案した。

また、企画提案に先立って、滋賀県東近江市で活動されている NPO 法人愛のまちエコ

倶楽部の活動や、菜の花館での体験、奥永源寺の特産品「政所(まんどころ)茶(ちゃ)」の生産現場での体験を通じ、資源循環型の地域づくりを学んだ。さらに、東近江市の民家（農家）をリノベーションした宿泊施設「だれんち？」を拠点として、参加者同士での交流を深めながら 1 泊 2 日の研修を通じて相互に企画を考える機会となった。

（６）SDGs ワークショップの活動内容について

①キックオフ・ワークショップ 1

日時：9 月 4 日（月）13:00～17:00

場所：キラリエ草津 協働ひろば（草津市大路 2 丁目 1－3 5）

無印良品 アル・プラザ草津店（草津市西渋川 1 丁目 2 3－3 0 アル・プラザ草津）

参加者：学生 12 名（欠席 1 名）、職員 4 名、

講師：上田隼也氏（インパクトラボ）、田口真太郎氏（成安造形大学）、
平林優史氏（株式会社良品計画）、木村修士氏（株式会社良品計画）

内容：・プログラム説明
・無印良品プロジェクト説明
・無印良品店舗見学
・アイデアワークショップ



②資源循環学習・民泊体験・政所茶体験

日時：9 月 7 日（木）13:00～9 月 8 日（金）13:00（1 泊 2 日）

場所：あいとうエコプラザ菜の花館（東近江市妹町 70）

クレフィール湖東・至福の湯（東近江市平柳町 22－3）

宿泊先「だれんち？（古民家）」（東近江市梅林町 90 番地）

政所茶畑（東近江市奥永源寺）

参加者：学生 12 名（欠席 1 名）、職員 5 名

講師：上田隼也氏（インパクトラボ）、伊藤真也氏ほか（NPO 法人愛のまちエコ倶楽部）

山形蓮氏ほか（政所茶縁の会）

内容：・菜の花館での資源循環の取り組み学習および現場見学

- ・アイデアワークショップ
- ・中間発表へ向けての準備
- ・宿泊施設でのグループワーク
- ・政所茶畑における農業体験（雑草除去）および政所茶生産における資源循環との関わりや高齢化・過疎化など生産者の課題や取り組みについての学習



③ワークショップ2

日時：9月15日（金）13:00～16:00

形式：オンライン開催（Zoom）

参加者：学生12名（欠席1名）、職員5名

講師：上田隼也氏（インパクトラボ）、田口真太郎氏（成安造形大学）、
平林優史氏（株式会社良品計画）

内容：・各グループ企画案の中間発表（4グループ）
・実現に向けたブラッシュアップ
・成果報告に向けたアドバイス・フィードバック・アイディア出し



④活動報告会

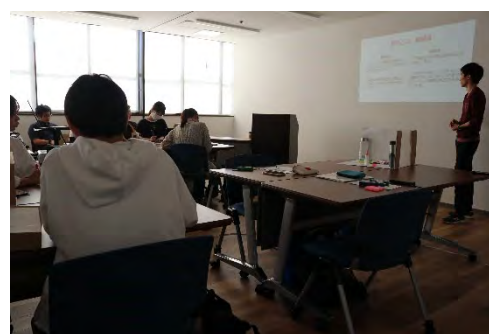
日時：9月24日（日）13:00～16:00

場所：平和書店 アル・プラザ彦根店 レンタルスペース C 【9/12 付会場変更】
（彦根市大東町 2-28 アル・プラザ彦根 6階）

参加者：学生10名（欠席3名）、職員4名、高校生見学2名

講師：上田隼也氏（インパクトラボ）、田口真太郎氏（成安造形大学）、
平林優史氏（株式会社良品計画）

内容：・各グループ企画発表
・意見や感想の集約・共有、アドバイス等
・グループワーク（実現に向けたブラッシュアップ作業）





⑤無印良品での企画の実施

日時：12月2日（土）～3日（日）10:00～16:00（最終受付 15:00）

場所：無印良品ビバシティ彦根店

（彦根市竹ヶ鼻町 43-1 ビバシティ彦根 1 階）

参加者：学生 4 名+無印良品店舗スタッフ+高校生協力者 1 名

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

内容：グループ 4 企画の「謎解きワークショップ」と滋賀県企画の「しがプラチャレンジプロジェクト」を併せた形で、無印良品ビバシティ彦根店内にて開催
参加費無料で保護者同伴の小学生を対象に実施し、店内に 8 問の謎を設置。受付で回答用紙を受け取り参加者に回遊してもらい、最後に受付で答え合わせをして、正解数に応じてお菓子を贈呈（無印良品店舗で準備）、連携して、「しがプラチャレンジプロジェクト」のアンケートやポスターフレームへのシール貼りに参加。

結果：12月2日（土）86名参加、 12月3日（日）156名参加

多くの親子の皆さんが親しみながらワークショップに参加し大盛況となった。



(7) 大学・地域交流フェスタでの成果報告発表について

日時：11月26日（日）10:00～12:00

形式：オンライン開催（Zoom）

内容：①大学地域課題解決支援事業報告

②学生支援事業報告「SDGs ワークショップ」成果報告発表

・SDGs ワークショップ・資源循環学習の全体説明

・各グループ発表（全4グループ）

【各グループ発表内容】

グループ	企画タイトル	企画内容
1	彦根ビワイチワークショップ みんなでつくとうサイクルスペース	彦根店を拠点としたサイクルワーク ショップの企画
2	Mu Diorama	リサイクル工場のジオラマ作成ワー クショップの企画
3	クリスマスイブ ～あなたの家のクリスマスツリーを 一緒に飾る～	クリスマスオーナメントをリサイク ル素材で作成するワークショップの 企画
4	無印の矢印 ～無印 De 謎解き～	子ども向け謎解きイベントを通じ親 子で資源循環の認知度を向上させる 企画

(8) 予算執行状況

内訳	予算額	執行額	残額
① 業務委託費（SDGs ワークショップ運営に 係る諸経費）	600,000 円	600,000 円	0 円
② 宿泊代（一棟借り）	33,000 円	33,000 円	0 円
③ マイクロバス運行代	100,000 円	95,700 円	4,300 円
④ 保険料（@1,000 円×13 名）	13,000 円	13,000 円	0 円
⑤ その他（振込手数料・郵送料金・収 入印紙等）	4,000 円	2,595 円	1,405 円
合 計	750,000 円	744,295 円	5,705 円

※自宅から集合場所までの各自交通費および9月8日の夕食代・入浴料等は自己負担とした。

2. 今年度事業の総括について

(1) 学生支援事業の目的達成と学生の成長実感について

プログラム参加学生の活動を振り返るとともに学生の成長を確認するためにアンケートを実施した。

アンケートによると、プログラムに応募した目的としては、「SDGs への取り組み」とともに「企業（無印良品）との連携」の両方に関心が高かったことが窺える。コンセプトや支援事業の目的にも SDGs への理解を掲げている中で、企業（無印良品）とのコラボレーションという要素が加わりさらに魅力的なプログラムとして幅を広げることができたのではないかと考える。

応募した目的の達成度に関する質問では、回答者全員が、「目標を達成できた」以上の項目を選択している。その理由では、「資源循環などの学習・知識」「意見・感想等のフィードバック・交流」などが役立っている点でプログラムへの評価が窺えた。また、企画が実際に採用されるかわからない中での曖昧さについての指摘も見られた。

満足度の回答では、「非常に満足」が5名、「やや満足」が3名選択している。その理由として、「資源循環学習」「“だれんち”での宿泊」「店舗視察」「ワークショップ企画提案の機会」など貴重な体験ができたこと、「優れた指導」「交流体験」などが挙げられている。

プログラムを通して得たものについての回答として、「企画提案に関わるスキル向上」「SDGs 実践の場への理解」「企業提案の経験」「仲間と協力の大切さ」などが挙げられた。

改善が必要と思われる内容等についての主な回答では、「グループミーティング（対面）の時間増」「プレゼンの動画撮影・記録」「提案前に企画実現の条件を提示」「娯楽の増」などが挙げられており、次年度の改善への参考としたい。

以上、これらのアンケート結果から判断すると、学生支援事業が設ける6つの目的の達成と一定水準の成果を上げることができたと言える。

(2) 今後の課題

1) プログラムの内容について

アンケートの回答から見えた課題として、企業（無印良品）とのコラボレーション企画については、内容やコスト面等により、実現可能な店舗でのワークショップ企画が採用されたが、結果的に条件があわず企画が採用されないグループが生じてしまった。このため、一定条件で、最終的に企画が実現できるまでサポートできる内容に改善できれば、よりプログラムの成果も高くなると考えられる。

2) プログラムの参加人数について

今年度は、募集を16名枠で行ったが、オンライン募集説明会時は60名の参加者があった

ものの、実際の応募者数は 13 名と下回る結果となった。やや少ないが追加募集を行わず、13 名全員を採用とした。次回は募集期間を長くするなどの改善が望ましい。

課題としては、参加学生が一定の大学に偏る傾向があり、次年度に向けては、多くの学生が興味を抱くプログラムの設定とともに、加盟大学での参加を促す必要があると考える。

また、今年度は宿泊の関係もあり 16 名が上限となったが、予算も含め運営上可能な範囲で募集人員も増やした方がよいと思われる。

【添付資料】

◎「SDGsワークショップ」参加学生アンケート集計結果について

以 上

環びわ湖大学・地域コンソーシアム学生支援事業 「SDGsワークショップ」参加学生アンケート集計結果について

(1) アンケート実施期間

2023年9月24日（日）～10月9日（月）

(2) アンケート回答数

参加者：13名（滋賀大学2名、滋賀県立大学4名、聖泉大学1名、立命館大学1名、
龍谷大学5名）

回答者：8名（無記名）

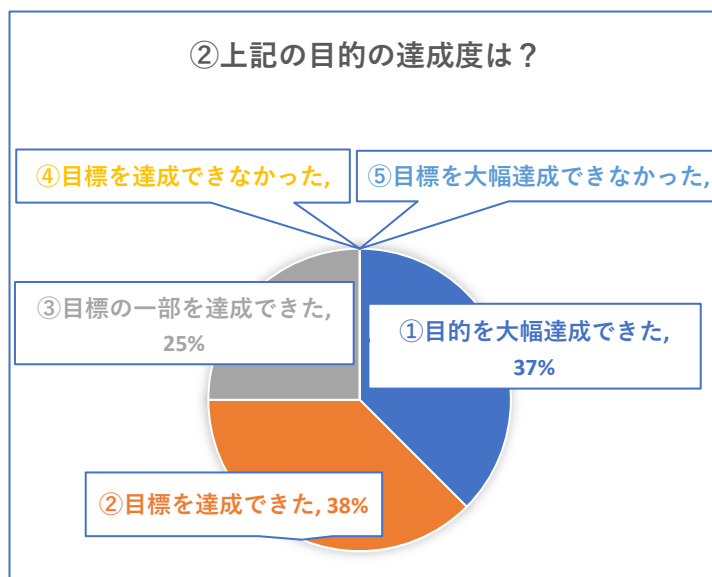
(3) アンケート回答結果

①プログラム応募の目的は何ですか？（記述、必須回答）

回 答
企業の方々と協力をしながら進めるワークショップに興味があったため。
MUJI良品が好きなので
環びわに参加してみたかった。環境配慮商品を作れるのではないかと考えた。
SDGsに関心があり、自分や周りの人ができることについて学びたいと考えたから。
SDGsに取り組む企業の実態について学ぶとともに、問題解決能力を高めたいと思ったから
滋賀県の環境について知りたかったから。また、いろいろな人と交流したかったから。
SDGsの分野に興味があり、自ら環境に配慮した取り組みを提案できるという点が魅力的であったから。また就活の一環になると考えたから。
大学のゼミでの活動をより良いものにする為に、新たなアイデアを出したり企画を立てたりすることをやってみたいから。

②上記の目的の達成度は？（必須回答）

回答	回答者数
①目的を大幅達成できた	3
②目標を達成できた	3
③目標の一部を達成できた	2
④目標を達成できなかった	0
⑤目標を大幅達成できなかった	0
合計	8

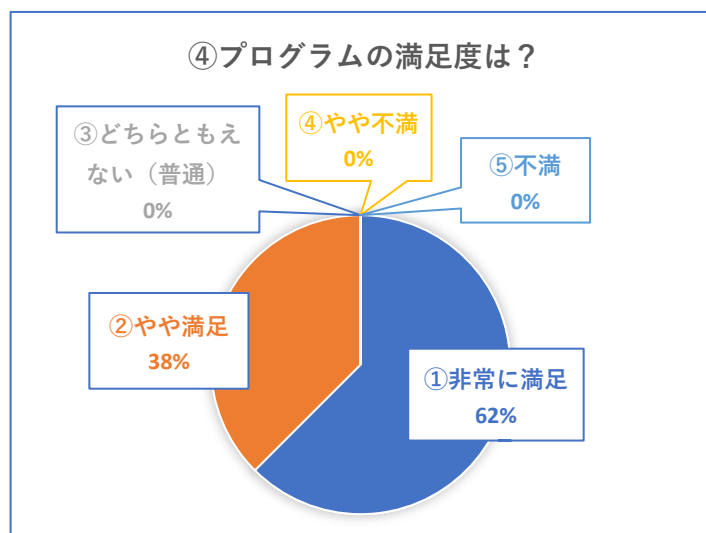


③上記の目的達成度を選択した理由は？（記述、必須回答）

回 答
実践を前提としたフィードバックを頂きながら、グループワークをする事が出来たから。
あまり触れていない知識の面を学んできたから
ワークショップを考えるのが目標だったから。
SDGsに対して新たな学びを得られたり、仲間から刺激を受けたりできたから。
無印良品の SDGsに対する問題解決方法について一部具体化できたから
資源循環体験を通して学べたから。また、グループだけでなく、他のグループのいろいろな人と関わる機会があったから。
私たちが提案したワークショップが実現できるのかが曖昧な点では大幅に達成できたとは言えないが、グループワークを通して意見交換ができたり、実現に向けて活発に活動できた。これはこれから先に様々な人と関わる際に役に立つと考える。
自分達だけで企画を一から考えるのは初めてだったので、大変有意義な時間になったと思ったから。今後も大学のゼミで企画提案する事が多いと思うので、どんな手順で企画を考えたらいいのか実感できたので自分の成長にも繋がるから。

④プログラムの満足度は？（必須回答）

回答	回答者数
①非常に満足	5
②やや満足	3
③どちらともえない（普通）	0
④やや不満	0
⑤不満	0
合計	8



⑤上記プログラム満足度の理由は？（記述、必須回答）

回 答
様々な大学や企業の方々と1つの目標に向かって、準備や体験を進めることが出来たから。
先生がとても責任感があるし、よく指導を受けました。
菜の花や政所茶など、普段見れないものを見ることができたが、想像と少し違ったから。
無印良品で実現できる見通しを持てるようなプロジェクトを考えることができたから。
政所やだれんち等、普段できない体験をすることができたから
この体験を通してしか学べないことがあると思ったから。
体験型のプログラム、店舗の視察などといった様々な要素を体験できた。ワークショップを提案するというプログラムは面白いし積極的に参加ができる。
プログラムを通して、他大学の人もとも交流を深め、友達もできたので良かったと思ったから。短い期間でのプログラムだったが、内容は濃いものだったので参加できて良かったと満足している。

⑥プログラムを通して得たものは？（記述、必須回答）

回 答
アイディアを出す、受け入れる、自分なりに解釈して形にする力。
SDGsの実践の場をよく理解できました。
滋賀の魅力 会社でやるような提案するという経験
叶えたいと思ったことを実現するために現実的に考えていく力。
チーム内協力の大変さを学ぶとともに、次にこのような状況に陥った際にどうするべきかを教わった
ゴールを目指して、仲間と考えあうことの大切さ。
行動力、積極性（グループ活動として意見を言わない成立しない）、機会を得ること（無印良品のバイト採用につなげることができた）
プログラムを通して、企画を提案する上での現実性やターゲットに向けたアプローチの仕方などの課題面も把握し、多くのフィードバックを受ける事ができた。そして、より具体的な企画内容を作り上げ、ブラッシュアップし、企画提案の大変さを痛感した。

⑦次年度以降、ワークショップの運営にあたって改善が必要と思われることがありましたら、(1)その内容、(2)改善が必要な理由、(3)具体的な改善策 を教えてください。（自由記述）

回 答
娯楽の項目をもっと増やして欲しい
発表内容を決める(話し合う)日がもう1日欲しい
(1)プレゼンの様子などを写真だけでなく動画撮影するべき (2)他班のプレゼンのやり方からも学べる点があると感じたため (3)プレゼンの様子をGooglemeet等を用いて映像に収める
(1)運営側からワークショップ提案にあつたての条件を提案してほしかった。 (2)話し合いの際にすべてが空想上で考えることになってしまい、最終的に実現性が難しくなってしまった。 (3)ミーティングの際に現実性を考慮した条件を始めの段階から提示する。
(1)もう少し対面での話し合いの時間を設けて欲しい。 (2)民泊で班全体の意見が固まっていなければ各々で考えなければならないので、話し合いが難しくなってしまうから。また、対面の方が気軽に話しやすいという利点があるから。 (3)実施日数を増やし、対面での報告会にする。

⑧その他ご意見ご感想等ありましたらご記入下さい。（自由記述）

回 答
約1ヶ月(更には事前の企画から含め)懇切丁寧なサポートをして頂き、ありがとうございました。企業の方々と「実践」に向けたディスカッションやプレゼンが出来る貴重な機会となりました。
普段できないことができてよかったです
貴重な学びの機会をいただきありがとうございました。
今までにない特別な経験をする事ができたので、面白かったし企画提案の方法も知ることができて良かったです。ありがとうございました。次も同じようなプログラムがあれば是非参加させていただきたいです。

令和5年度（2023年度）留学生事業部会の事業報告について

1 担当

主担当 滋賀県立大学

副担当 滋賀大学、滋賀県

2 部会の開催状況

（1）令和5年（2023年）5月31日（水）16：00分～16：30 オンライン会議

令和5年度（2023年度）事業計画について意見交換

（2）令和6年（2024年）2月6日（火）16：00～ オンライン会議

令和5年度（2023年度）事業報告（案）および令和6年度（2024年度）事業計画（案）が協議された。

3 令和5年度（2023年度）事業

（1）滋賀県留学生のつどい（地域連携PBL外国人留学生プログラム）

滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生および日本人学生を対象に、地域市民参加型の外国人留学生プログラムを開催し、宿場町草津について多角的に理解を深め、留学生から見た新たな方向性を提案するとともに、地域住民との交流を深めた。開催に当たっては、日本学生支援機構の助成金を活用した。

ア 開催日時

12月9日（土）9：30～18：30

12月17日（日）9：30～17：30

イ 参加者

各大学留学生および日本人学生（延べ28名）、草津市在住の外国人等（約60名）、草津市観光ボランティア協会、青春歌声しゃぼん玉、おみやげラボ、草津宿街道会館、草津市国際交流協会（KIFA）、立命館大学職員、草津市まちづくり協働課、その他関係者

ウ 後援

滋賀県

エ 内容

プログラム1 草津市を理解する。

12/9 草津市の概要、草津駅周辺のまちづくり、宿場町草津について、講義形式で学ぶ。

講義の様子



プログラム2 草津市を体感する。(フィールドワーク)

12/9 草津小市、草津宿本陣、草津宿街道交流会館、立木神社を見学した。

12/17 草津川跡地公園 (De 愛広場、Ai 彩広場) を見学した。

12/9 草津小市 (地域イベント) の様子



草津宿本陣の見学



12/17 De 愛広場の見学



Ai 彩広場の見学



プログラム3 新たな草津市を語る。(意見交換、プレゼンテーション)

12/9 ボランティア団体（青春歌声しゃぼん玉、おみやげラボ）との交流

12/17 KIFA 多文化交流会への参加、留学生プレゼンテーション

12/9 青春歌声しゃぼん玉との交流

おみやげラボ考案のカードゲームで交流



12/17 KIFA 多文化交流会に参加



12/17 留学生プレゼンテーション



（２）第 7 回・第 8 回留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動の方法や留学生の就職に関係する在留手続きなどのガイダンスを実施した。

また、内定をもらって就活を終えた内定者からは就職活動の体験談を、滋賀大学および滋賀県立大学を卒業して日本企業に就職した留学生ＯＢからは就活に関するアドバイスを、事業所の採用担当者からは外国人に求める職種や採用ポイントなどが紹介された。

ア 日 時

第 7 回 7 月 22 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分

第 8 回 12 月 9 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分

イ 場 所

滋賀大学および ZOOM（対面およびオンラインによるハイブリット開催）

ウ 参加者

第 7 回 10 名の外国人留学生

第 8 回 14 名の外国人留学生

エ 主な内容

講演 1：日本で働くための就職活動について

講演 2：安定した在留資格を得るために

講演 3：インターンシップ・就活体験談

講演 4：外国人の採用実績がある事業所等の採用担当者から、外国人に求める職種・採用ポイントなどを講演

就職内定者や卒業生へのインタビュー

質疑応答

第 7 回ガイダンス



第 8 回ガイダンス



（３）申請等取次研修会

外国人留学生の在留審査手続きを行う「申請取次者」の資格付与にかかる標記研修会について、法務省大阪出入国在留管理局の協力のもとで開催した。研修後、各自で「申請取次者」の資格申請が可能となった。

ア 日時

令和 5 年 7 月 19 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分

イ 開催方法

オンライン開催 (Zoom)

ウ 参加費

無料

(4) 留学生等外国人材向け合同企業説明会

ア 日時

10月18日(水) 13:30~18:00

イ 開催方法

対面×オンライン (Zoom) のハイブリッド形式

対面会場はピアザ淡海第会議室

ウ 出展企業

県内に拠点のある企業・団体 25 社

(うち製造業 8 社、建設業 3 社、医療・介護 3 社、教育 3 社、旅館業 3 社、その他 5 社)

エ 参加者数

48 名 (対面 18 名、オンライン 30 名)

オ 内容

- ・ 就職活動に役立つセミナー
- ・ 企業紹介、ブースにおける個別相談

対面の様子



オンラインの様子

13:30-14:00	就職活動に役立つセミナー：『就活週報のほりて働く！』			
	ENTRY			
14:10-14:40	【製造業】 日伸工業株式会社	【製造業】 行田電機株式会社	【製造業】 株式会社松島屋	【製造業・サービス】 株式会社日吉
	ENTRY	ENTRY	ENTRY	ENTRY
14:50-15:20	【製造業】 能勢鋼材株式会社 滋賀工場	【製造業】 株式会社ナカサキ	【製造業】 株式会社京産	【製造業】 株式会社中村組
	ENTRY	ENTRY	ENTRY	ENTRY
15:30-16:00	【製造業】 大塚産業マテリアル 株式会社	【製造業】 長谷金属株式会社	【教育・経済】 一般財団法人 滋賀YMCA	【医療】 医療法人社団仁生会 甲南病院
	ENTRY	ENTRY	ENTRY	ENTRY
16:10-16:40	【製造業】 株式会社ゴースュー	【サービス・物流業】 株式会社 ホテル・アルファワン大津	【建設業】 谷庄建設株式会社	【製造業】 株式会社バンテック
	ENTRY	ENTRY	ENTRY	ENTRY
16:50-17:20	【製造業】 株式会社キムラテック	【サービス・物流業】 アーバンホテルシステム 株式会社	【製造業】 スターエンジニアリング 株式会社	【医療】 社会福祉法人 滋賀会
	ENTRY	ENTRY	ENTRY	ENTRY

4 収支

(1) 収入

日本学生支援機構 (留学生地域交流事業) 360,000 円

(2) 支出

ア 滋賀県留学生のつどい 286,487 円 (バス借上げ料、昼食代、拝観料、講師謝金等)

イ 留学生就職活動ガイダンス 70,280 円 (講師謝金および旅費)

計 356,767 円

※ 日本学生支援機構から交付された 36 万円は留学生のつどい事業費に充当され、残額である 73,513 円は返納した。

以上

令和5年度 就職支援事業部会 事業報告

1 就職支援事業部会（14 大学）

（主担当校）滋賀大学、（副担当校）滋賀県立大学、びわこ学院大学
（参画校）滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、聖泉大学、
長浜バイオ大学、びわこ成蹊スポーツ大学、びわこリハビリテーション
専門職大学、滋賀文教短期大学、滋賀短期大学、放送大学

（1）第1回就職支援事業部会

令和5年6月9日（金） 13：30～14：05 対面・オンライン併用で開催
出席：11 大学

（2）第2回就職支援事業部会

令和5年9月22日（金） 15：15～15：30 Web（Zoom）で開催 出席：10 大学

（3）第3回就職支援事業部会

令和6年1月26日（金） 14：00～14：20 Web（Zoom）で開催 出席：9 大学

2 令和5年度事業

（1）合同企業説明会

開催済 協力：6 件

（2）滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

令和5年12月15日（金）に滋賀県若年者雇用促進事業（一般社団法人滋賀経済産業協会）
主催の大学と企業との情報交換会に参加

クサツエストピアホテル 参加企業：45 社、参加大学：17 大学

（3）就職支援に関する意見交換会・情報交換会・研修会

①関係機関との意見交換会

令和5年9月22日（金） 14：00～15：00 Web（Zoom）で開催
参加関係機関：7 機関、参加大学：10 大学

②大学就職担当者間の情報交換会・研修会

令和6年1月26日（金） 15：00～17：00 Web（Zoom）で開催
参加大学：7 大学

（4）学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント

令和5年12月2日（土）に「はたらくデザインラボ～業界研究編～」を開催
参加学生：3 名、参加企業：6 企業

（5）企業採用経験者による模擬面接会

令和5年6月 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施
実施人数：9 名

（*別紙一覧表を参照）

以 上

2023（令和5）年度 就職支援事業一覧表

		2023（令和5）年度事業	2022（令和4）年度事業
1 合同企業説明会	①	日時：8/9 「しがジョブフェア2023夏」 場所：クサツエストピアホテル 主催：滋賀労働局, ハローワーク, 滋賀県, 滋賀若年者地域連携事業事務局, しがジョブパーク 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業：70社 参加者数：123名	日時：6/28 「しがジョブフェア2022夏」 場所：クサツエストピアホテル 主催：滋賀労働局, ハローワーク, 滋賀県, 滋賀若年者地域連携事業事務局, しがジョブパーク 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業：60社 参加者数：58名
	②	日時：8/24、8/31、10/27、11/13、11/17 「はたらくデザインラボ」 場所：キラリ工草津 他 主催：滋賀県 運営：しがジョブパーク 参加企業：30社 参加者数：62名	日時：6/6～6/27、8/1～8/29 「しがジョブLIVE!」 ※オンライン開催 主催：滋賀県、しがジョブパーク 広報協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業：16社 参加者数：28名
	③	日時：6/12 「甲賀市・湖南市合同JOBフェア」 場所：クサツエストピアホテル 主催：甲賀市役所商工労政課、湖南市役所商工観光労政課 共催：ハローワーク甲賀 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀労働局、しがジョブパーク 中小企業団体中央会、甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、 湖南市工業会、湖南工業団地協会、湖南市企業・事業所人権啓発推進協 参加企業：48社 参加者数：57名	日時：6/20 「甲賀市・湖南市合同JOBフェア」 場所：クサツエストピアホテル 主催：甲賀市役所商工労政課、湖南市役所商工観光労政課 共催：ハローワーク甲賀 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀労働局、しがジョブパーク 中小企業団体中央会、甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、 湖南市工業会、湖南工業団地協会、湖南市企業・事業所人権啓発推進協 参加企業：50社 参加者数：42名
	④	日時：6/17 「甲賀市・湖南市合同業界研究フェア」 場所：オンライン（Zoom） 主催：甲賀市役所商工労政課、湖南市役所商工観光労政課 共催：ハローワーク甲賀 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀労働局、しがジョブパーク、滋賀県 中小企業団体中央会、甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、 湖南市工業会、湖南工業団地協会、湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会 参加企業：9社 参加者数：25名	

		2023（令和5）年度事業	2022（令和4）年度事業
1 合同企業説明会	⑤	<p>日時：6/19 「おおつ就職フェア2023」 場所：琵琶湖ホテル 主催：大津市 共催：ハローワーク大津 協力：滋賀県中小企業団体中央会, 大津商工会議所, 大津北商工会, 瀬田商工 環びわ湖大学・地域コンソーシアム, しがジョブパーク, 滋賀新卒応援ハロ 参加企業：44社 参加者数：38名</p>	<p>日時：7/6 「おおつ学生・若者就職フェア2022」 場所：琵琶湖ホテル 主催：大津市 共催：ハローワーク大津 協力：滋賀県中小企業団体中央会, 大津商工会議所, 大津北商工会, 瀬田商工 環びわ湖大学・地域コンソーシアム, しがジョブパーク, 滋賀新卒応援ハロ 参加企業：43社 参加者数：37名</p>
	⑥	<p>日時：6/24～3/28（全8回） 「WORKしが博」 場所：キラリエ草津 他 主催：滋賀県 運営：しがジョブパーク 後援：滋賀労働局 参加企業：234社 参加者数：574名</p>	
	⑦	<p>日時：10/14、2/17 「東近江市で働こう！ 合同就職説明会」 場所：10/14 アピオホール、2/17 能登川コミュニティセンター 主催：東近江市就労対策協議会 参加企業：73社 参加者数：121名</p>	<p>日時：10/29 「東近江市で働く！！ 合同就職面接会」 場所：東近江市立八日市文化芸術会館 主催：東近江市就労対策協議会 参加企業：41社 参加者数：13名</p>
	⑨	<p>日時：12/8、12/16「滋賀就活フェス」 場所：12/8 Zoom、12/16 キラリエ草津 運営：株式会社いろあわせ（tama-go事務局） 参加企業：14社 参加者数：70名</p>	
	⑨	<p>日時：1/15 「しがジョブフェア 2024 冬」 場所：キラリエ草津 主催：滋賀労働局, ハローワーク, 滋賀県, しがジョブパーク, 滋賀経済産業 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム, 滋賀県中小企業団体中央会 参加企業：23社 参加者数：46名（新卒16名、既卒・若年者30名）</p>	<p>日時：2/7 「しがジョブフェア 2023 WINTER」 場所：クサツエストピアホテル 主催：滋賀労働局, ハローワーク, 滋賀県, しがジョブパーク, 滋賀経済産業 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム, 滋賀県中小企業団体中央会 参加企業：35社 参加者数：51名（新卒10名、既卒・若年者41名）</p>
	⑩	<p>日時：1/30 「就活スタートダッシュ！ オンライン合同企業説明会」 場所：Zoom 主催：びわ湖東北部地域連携協議会 協力：滋賀県, 彦根市, 長浜市, 米原市</p>	<p>日時：2/17 「就活スタートダッシュ！ オンライン合同企業説明会」 場所：Zoom 主催：びわ湖東北部地域連携協議会 協力：長浜市・米原市</p>

		2023（令和5）年度事業	2022（令和4）年度事業
1 合同企業説明会	⑪		日時：2/21 「業界研究フェアin彦根」 場所：Zoom 主催：彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力：彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、 びわ湖東北部地域連携協議会
	⑫	日時：2/14 「滋賀就活フェアin彦根」 場所：マリアージュ彦根 主催：彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力：彦根市、びわ湖東北部地域連携協議会	日時：3/7 「滋賀就活フェアin彦根」 場所：マリアージュ彦根 主催：彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力：彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、 びわ湖東北部地域連携協議会
	⑬	日時：3/4, 3/8 「ローカルジョブコレクション」 場所：3/4 Zoom、3/8 長浜バイオ大学 主催：学卒採用戦略委員会 事務局（長浜商工会議所内） 協力：長浜市・米原市	日時：3/3, 3/10 「ローカルジョブコレクション」 場所：3/3 Zoom、3/10 長浜バイオ大学 主催：学卒採用戦略委員会 事務局（長浜商工会議所内） 協力：長浜市・米原市
	⑭	日時：3/14 「おおつ合同企業説明会2024」 場所：琵琶湖ホテル 主催：大津市 協力：ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会、大津商工会議所、 大津北商工会、瀬田商工会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、 しがジョブパーク、滋賀新卒応援ハローワーク	日時：3/17 「おおつ合同企業説明会2023」 場所：大津市役所 主催：大津市 協力：ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会、大津商工会議所、 大津北商工会、瀬田商工会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、 しがジョブパーク、滋賀新卒応援ハローワーク

	2023（令和5）年度事業	2022（令和4）年度事業
2 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会	日時：12/15 「大学と滋賀県企業との交流会」 場所：クサツエストピアホテル 参加企業： 45社 参加大学： 17大学 主催：滋賀経済産業協会（厚生労働省 滋賀労働局委託 若年者地域連携事	日時：12/14 「企業と大学の情報共有懇談会」 場所：クサツエストピアホテル 参加企業： 55社 参加大学： 17大学 主催：滋賀経済産業協会（厚生労働省 滋賀労働局委託 若年者地域連携事
3 大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施	日時：9/22 「関係機関との意見交換会」 ※オンライン開催 参加：10大学, 労働局1名, 滋賀県1名, 大津市1名, 長浜市1名, 草津市1名, 甲賀市1名, 東近江市1名, 環びわ湖大学・地域コンソーシアム	日時：9/8 「関係機関との意見交換会」 ※オンライン開催 参加：10大学, 労働局1名, 滋賀県1名, 滋賀県経済産業協会1名, 滋賀県中小企業団体中央会1名, 大津市1名, 彦根市1名, 長浜市1名, 草津市1名, 東近江市1名, 環びわ湖大学・地域コンソーシアム
	日時：1/26 「大学就職担当者間の情報交換会・研修会」 ※オンライン開催 参加大学：7大学 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ：学生覆面座談会『学生目線のキャリアセンターのあり方』 ／『学生目線での就職支援に向けて行動宣言』	日時：1/20 「大学就職担当者間の情報交換会・研修会」 ※オンライン開催 参加大学：9大学 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ：これからの大学の就職支援の在り方について／これからの大学の就職支援について／県内就職促進に向けた行動宣言
4 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント（ミニ・インターンシップ）	日時：12/2 「はたらくデザインラボ～業界研究編～」 ※オンライン開催 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県 参加企業：6社 参加者数：3名	日時：9/24 「しが就活塾」 ※オンライン開催 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県 参加企業：10社（午前5社、午後5社） 参加者数：20名
5 企業採用経験者による模擬面接会	日時：6/28 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施 場所：クサツエストピアホテル 実施人数：9名	日時：6/28 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施 場所：クサツエストピアホテル 実施人数：6名

令和5（2023）年度単位互換事業部会事業報告

1. 令和5年度事業報告

令和5年度の単位互換事業については、令和4年度の事業委員会で審議され、13大学から67科目の提供を受け開講した。その後、再追加募集の際に、新規で秋学期開講科目（3科目）の提供があり、計70科目で募集を行った。

5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「第5類」に移行し、様々な制限も緩和されたが、22年度に引き続き出願者の伸び悩みがあった。また、受講者の約6割が集中講義を選択しており、コロナ禍を経て、学生が学期中は移動を避ける傾向にあるのではないかと考えられる。

事業としては当初のスケジュールどおり募集を開始し、追加、再追加と行った結果、7大学から27名が16科目に出願した。そのうち、単位付与者は17名であった。

<令和5（2023）年度 単位互換事業出願・受講者数集計表>

2023年度受講科目一覧(提供科目数:70科目 受講科目数:16科目)							
科目番号	提供大学	科目名	出願者数	受講者数	単位付与者数	開講時期	実施方法
1	滋賀大学	福祉と教育	1	1	0	春学期	対面・遠隔併用
7	滋賀大学	数学的思考	1	1	0	春学期	対面授業
9	滋賀大学	メディアと情報	1	1	1	秋学期	未定
13	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	2	2	1	夏期集中	対面授業
14	滋賀県立大学	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション - 近江の暮らしとなりわい -	2	2	2	夏期集中	対面授業
18	滋賀県立大学	地域産業・企業から学ぶ社長講義	2	2	1	後期	対面授業
25	成安造形大学	近江学A(大学連携・地域連携型PBL科目「おうみ学生未来塾(湖西)」)	4	4	4	前期集中	対面授業
32	聖泉大学	滋賀論	2	2	2	前期集中	対面・遠隔併用
39	長浜バイオ大学	近江でのSDGsの実践	2	2	1	後期集中	対面授業
51	立命館大学	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)	1	1	0	夏集中Ⅰ	対面授業
52	立命館大学	ソーシャルデザイン論	1	1	1	春学期	遠隔授業
58	龍谷大学	食の嗜好と科学	1	1	1	後期	対面授業
59	龍谷大学	食の文化論	1	1	0	前期	対面授業
62	龍谷大学	環境の科学	1	1	0	後期	対面授業
64	龍谷大学	びわ湖・滋賀学	4	4	3	夏期集中	対面・遠隔併用
66	龍谷大学	コミュニティ論	1	1	0	後期	対面・遠隔併用
総計			27	27	17		

2. 単位互換事業委員会結果概要

(1) 第1回単位互換事業委員会及び担当国会議（書面開催）

日時：令和5年7月7日（金）

方法：メール審議

内容：

- ・令和4年度第2回単位互換事業部会の議事録および令和4年度単位互換事業報告、令和5年度単位互換事業計画並びに取組状況について審議され、承認された。
- ・単位互換科目における遠隔授業の取り扱いに関するアンケートが実施された。

(2) 第2回単位互換事業委員会及び担当国会議

日時：令和5年11月8日（水）16:00～17:30

場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局会議室

内容：

- ・令和5年度単位互換事業中間報告の説明があり、承認された。
- ・令和6年度事業計画（案）について審議され、遠隔授業科目を取り入れていくことで承認された。
- ・令和5年度の今後のスケジュールの確認と広報用パンフレット・ポスターの作成について審議され、ポスターについては令和6年度以降は引き続き現在のものを掲示していくことを各大学へ依頼。パンフレットについても、印刷物配付機会が減少している状況に鑑み、データ（PDF）での配付に一本化することで承認された。
- ・令和6年度の単位互換事業予算(案)について説明があり、当初広報費として設定していた10万円を「おうみ学生未来塾」の助成金へ充当する方向で進めていくことを確認、承認された。

【令和5年度担当校】

主担当校：立命館大学

副担当校：龍谷大学・びわこリハビリテーション専門職大学

2023（令和5）年度 広報事業報告

1. 担当

事務局

2. 事業報告

(1) ホームページの管理・運営

更新状況 （2023年5月1日～2024年3月31日）

① コンソーシアムについて

組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況を更新した。

② コンソーシアムの事業

各事業部会について2023年度の事業内容を更新した。

③ お知らせ（News）に、54件の記事を掲載した。

（大学地域連携課題解決支援事業3件、学生支援事業1件、留学生事業2件、就職支援事業12件、単位互換事業5件、その他お知らせ31件）

④ SDGs への取組（活動報告）

・2023年度学生支援事業

「SDGs ワークショップ～滋賀のサーキュラーエコノミーの実践～」

・SDGs 関連のお知らせ 2件を掲載した。

⑤ アクセス統計 2023年4月1日～2024年3月31日

（カッコ内は、2022年4月1日～2023年3月31日）

・ユーザー 12,423件（11,379）

・セッション 15,823件（14,902）

・ページビュー数 31,610件（34,543）

・デバイス別アクセス

	デバイスカテゴリ	ユーザー数 (全体に対する割合)
1	モバイル	7,182 (57.4%)
2	デスクトップ	5,147 (41.2%)
3	タブレット	174 (1.4%)

(2) 広報資料の配布

2022年版のリーフレット（A3 三つ折）を追加配布した。

以上

令和５年度大学連携政策研究事業
「大学の強みを活かした大学間連携による魅力ある教育プログラムづくり
に関する政策研究事業」

1. 事業目的

今後、人口減少・高齢化等により、地域コミュニティの弱体化や経済力の低下など、様々な地域課題が顕在化していくことが予想される。また、大学・短期大学・専門職大学（以下「大学等」という。）では、若年人口の減少に伴う経営上の課題を抱えており、地域社会における存在価値を高めていくことが求められている。

また、地方創生に資する地方大学の実現に向けた検討会議では、地方創生に資する地方大学が目指すべき方向性として、大学間の競争から協働への思想の下、「地域連携プラットフォーム」や「大学等連携推進法人」の活用等により、民間や国公私を超えた大学間の連携・協働を行う、と示された。

そこで、県内の人づくりに資する大学のあり方を見据えて、大学等間、産業界、自治体等の連携や大学等連携推進法人の活用も視野に入れ魅力ある教育プログラムづくりに向けた具体策に関する調査・研究を行う。

2. 事業内容

- (1) 県内大学等の協働を前提とした教育プログラムづくりの方向性を研究する。
- (2) 大学の強みを活かした大学間連携による魅力ある教育プログラムづくりに向けた提言を取りまとめる。
- (3) 調査結果、検討内容を取りまとめた報告書を作成する。

3. 事業実施

(1) 第１回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和５年８月３日（木）１５：００～１７：００（対面）

議 題：１ 令和５年度大学連携政策研究事業委員会の発足にあたって

２ 委員自己紹介

３ 政策研究課題について

４ ヒアリング先について

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）

河井 亨（立命館大学スポーツ健康科学部 准教授）

小宮 徹（長浜バイオ大学フロンティアバイオサイエンス学科 准教授）

埴田 和史（びわこリハビリテーション専門職大学作業療法学科 教授）

宮木 京子（滋賀県総合企画部企画調整課）（陪席）

磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

(2) ヒアリング調査

1. 芸術文化観光専門職大学の連携教育（担当：中野委員、河井委員、埤田委員、仁連委員長）

令和5年9月21日（木） 芸術文化観光専門職大学

藤野	一夫	副学長
古賀	弥生	芸術文化・観光学部長
日下部	雅之	事務局長
一二三	隆	教育企画部長

2. 宮崎大学を中心とする SPARC 事業（担当：仁連委員長）

令和5年9月23日（土） オンライン・キックオフシンポジウム

3. 岐阜大学を中心とする SPARC 事業（担当：中野委員、仁連委員長）

令和5年9月27日（水） 岐阜大学

杉山	誠	副学長
肥後	睦輝	社会システム経営学環教授
白村	直也	教育推進・学生支援機構准教授
安江	真由美	教育推進・学生支援機構特任准教授
神	酒太郎	教育推進・学生支援機構准教授
北野	信哉	学務部企画課長
有川	美香	学務部全学連携教育課長

4. 山梨県立大学を中心とする「ペンタスやまなし」事業（担当：小宮委員、仁連委員長）

令和5年11月21日（火） 山梨県立大学

杉山	歩	学長補佐、地域人材養成センター長、国際政策学部教授
守重	洋良	社会連携課長
伊藤	友里	山梨大学大学院総合研究部特任助教

(3) 第2回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和5年10月18日（水） 16：00～17：20（対面・オンライン併用）

議 題：1 ヒアリング報告について

2 報告書案について

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）

河井 亨（立命館大学スポーツ健康科学部 准教授）

小宮 徹（長浜バイオ大学フロンティアバイオサイエンス学科 准教授）

埤田 和史（びわこリハビリテーション専門職大学作業療法学科 教授）

恩地 衛（総合企画部企画調整課 参事）（陪席）

磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

(4) 第3回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和5年12月20日（水）15：30～17：00（対面・オンライン併用）

議題：1 報告書案について

2 意見交換

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）

河井 亨（立命館大学スポーツ健康科学部 准教授）

小宮 徹（長浜バイオ大学フロンティアバイオサイエンス学科 准教授）

埴田 和史（びわこリハビリテーション専門職大学作業療法学科 教授）

恩地 衛（総合企画部企画調整課 参事）（陪席）

磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

(5) 最終まとめ（報告書目次）

はじめに（仁連）

1 政策研究の目的と課題（仁連）

2 県内大学の連携教育の現状と課題

2.1 単位互換制度の現状と課題（仁連）

2.2 滋賀大学を責任校とする SPARC 事業申請とその課題（中野）

2.3 大学と地域の連携協力による教育魅力化の課題（河井）

3 事例調査に見る連携教育

3.1 芸術文化観光専門職大学の連携教育（埴田）

3.2 岐阜大学を中心とする SPARC 事業（中野）

3.3 宮崎大学を中心とする SPARC 事業（仁連）

3.4 山梨県立大学を中心とする「ペントスやまなし」事業（小宮）

4 まとめと提言（仁連）

以上